

若手職員からのメッセージ

行政運営改善調査に携わった採用2年目の職員に話を聞きました。
(現在:九州管区行政評価局総務行政相談部に配属)



1.行政運営改善調査の業務内容

現場に直接足を運び、各府省の政策の改善や推進を促す仕事です

私は、昨年度、評価監視部に配属されました。評価監視部では、各府省の政策や業務が適切かつ効率的に実施されているかを客観的に調査・分析し、行政の改善につなげる、「行政運営改善調査」を実施しています。調査では、関係機関に直接赴き、現場の声や実態を把握しているところに特徴があります。私が携わった「応急仮設住宅に関する調査」や「ダム of 事前放流に関する調査」においても、関係機関へのヒアリングを通じて実態を把握し、現場の声を総務省本省に報告しました。当時は採用1年目でしたが、ヒアリングの調整や結果の取りまとめを担当しました。未知の制度を学ぶことは簡単ではありませんが、報告書として形になった際は大きなやりがいを感じました。

2.印象に残っていること

自ら行政課題を発掘し、ヒアリングから取りまとめまで行ったこと

採用1年目に、自ら検討した調査テーマ案を会議の場で発表しました。行政課題と思われるテーマの設定から関係機関へのヒアリング、会議での発表まで、一連のプロセスを経験できたことが、印象に残っています。私は、「在宅医療機器使用者の個別避難計画」をテーマに据え、災害時の在宅医療機器使用者への支援のあり方について検討しました。勉強を進める中で、検討すべき論点が広がり、方向性の整理に悩む場面もありましたが、上司に相談し、論点の整理や情報の取捨選択を行うことで、現場に共通する課題を把握することができ、結果的には、会議において説得力のある発表につなげることができたと感じています。

3.職場の雰囲気

採用年次に関係なく、意見を発信しやすい環境です

風通しが良く相談しやすい職場ですので、若手も意見を発信しながら上司の支援を受けて着実に成長できる環境です。

4.九州管区行政評価局が合う人はこんな人！

様々なことに関心を持ち、自主的に考えられる人

調査では各府省の政策を取り上げるため、様々な分野に詳しくなることができるのが当局ならではの魅力だと思います。調査テーマが定期的に変わるので、様々なことに関心を持ち、日常の出来事にも疑問を持って主体的に考えられる人が向いていると思います。興味を持っていただけの方は、ぜひ座談会や説明会に参加してみてください！

業務内容の詳細は、当局HPから↓

行政相談業務



調査業務

